

# 事業評価シート（平成26年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	ツインシティ整備推進事業		
事業担当	都市整備部 都市整備課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	住みごこち 人にやさしい居住空間をつくる	
	'03	3 環境に配慮した都市基盤整備を進める	
根拠法令等			
対象・受益者	地区住民、市民	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 地区住民】		
	目的・目標		事業の概要
本市の新たな北部の拠点として、また交通の玄関口としての役割を担う、環境と共生するまちづくりの具現化が図られています。		環境と共生するまちづくりとしてツインシティ整備事業の具現化を図るため、地区住民と検討を行うとともに各種調査を進めます。また、交通計画の検討及び交通網の整備を県に要請します。	

## 2. 事業の検証

活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
活動指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
成果指標	指標名	都市計画決定・事業認可進捗率(平成26年度から)			単位	%
	説明・算定式	平成27年度を100%とした都市計画決定等の進捗率。H25まで：98%、H26：都市計画決定及び事業認可手続き1%、H27：都市計画決定、事業認可1%				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標			100	100	
	実績			99		
成果指標	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
組合設立準備会を18回、組合設立準備部会を12回それぞれ開催し、地元地権者への事業啓発活動や意識の醸成を図りました。また、都市計画や環境アセスメントについて、関係機関との協議、調整を図り、手続を進めました。						
平成26年度の検証結果	A：成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	地元、県、期成同盟会の期待から、事業の必要性は高いと思われます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	本市だけでなく、県央湘南都市圏全体の発展をめざす事業のため、有効性は高いと思われます。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	地元、県、市のそれぞれの役割分担を定めていくため、事業の妥当性は高いと思われます。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	コスト削減効果が見込まれる事業手法を組み合わせることで、効率性の確保を図っています。	高中低
<b>今後に向けた課題の分析</b> 地元、県、市等との役割分担を明確にしていき、住民が安心して事業を行える環境づくりを行いながら、いかに地区住民の事業に対する意識の醸成や地権者との合意形成が図れるかが課題です。				

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		都市計画決定、事業認可手続き、事業化準備	都市計画決定、事業認可手続き、事業化準備	都市計画決定、事業認可、事業への支援、環境共生まちづくりの検討	環境共生まちづくりの検討、事業への支援
財源内訳	国庫支出金	4,000	8,000	0	0
	県支出金	4,996	8,987	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	46,268	140,905	24,756	1,380
事業費 (A)		55,264	157,892	24,756	1,380
執行率 (%)		98.21	97.57	5.08	

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

<b>平成28年度 of 取組方針</b> より効率的かつ地域特性を踏まえた支援を行い、環境共生のまちづくりの検討を行っていきます。
<b>課長コメント</b> 神奈川県土の南のゲートとして計画されているツインシティを本市の北の核と位置づけ、交通の利便性、機能性を活かし、環境と共生するまちづくりのモデル地区としてツインシティ面整備事業の具現化を図る必要があると考えています。